

# SWP1 Firmware

## 主なアップデート内容

### SWP1 Firmware Rev.2.01.09

#### 修正した不具合

- QoS でパケットが正しく優先制御されないことがある不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

#### お知らせ

Web GUI の推奨ブラウザは以下のとおりです。

- Windows: Microsoft Internet Explorer 11 以降
- Mac: Apple Safari 7 以降

### SWP1 Firmware Rev.2.01.08

#### 新機能

- ポート認証機能に対応しました。
- 以下の項目を、Web GUI 上から設定変更できるようになりました。
  - インターフェース設定
  - ルーティング
  - DNS クライアント
  - 各種サーバーの設定

#### 仕様変更

- Web GUI で、EEE 設定の項目を「インターフェース設定」ページに移動しました。

#### 修正した不具合

- 通信速度が異なるポート間の通信で、パケットドロップが発生しやすい不具合を修正しました。

## お知らせ

Web GUI の推奨ブラウザは以下のとおりです。

- Windows: Microsoft Internet Explorer 11 以降
- Mac: Apple Safari 7 以降

# SWP1 Firmware Rev.2.01.07

## 修正した不具合

- IGMP/MLD スヌーピング有効時に VLAN 設定をプリセットの構成から変更すると、スイッチ間のマルチキャストパケットが転送できないことがある不具合を修正しました。なお Dante ネットワークではデバイス検出、PTP、マルチキャストフローでマルチキャストを使用しています。また、ヤマハ PA 製品でも、デバイス発見やメーター通信などでマルチキャストを使用している場合があります。
- IGMP/MLD スヌーピング機能で、非クエリアーとして動作しているときでも、自機からクエリーを送信し続けてしまうことがある不具合を修正しました。
- LACP/スタティック論理インターフェースを新たに作成するとき、物理ポートのアクセス VLAN 設定が引き継がれず VLAN1 になってしまう不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

## お知らせ

Web GUI の推奨ブラウザは以下のとおりです。

- Windows Microsoft Internet Explorer 11 以降
- Mac Apple Safari 7 以降

# SWP1 Firmware Rev.2.01.04

## 新機能

- IPv6 に対応しました。
- リンクアグリゲーションに対するロードバランスのルールを、Web GUI 上から設定変更できるようになりました。

## 改善点

- VLAN PRESET Normal/A/B のリンクアグリゲーション方式を、「LACP モード」から「スタティックモード」に変更しました。これにより対向スイッチ側がリンクアグリゲーションを利用していない場合でも通信できるようになりました。この仕様変更により、Rev.2.01.03 以前の SWP1 とはこれらのポート間で通信できなくなります。すべて Rev.2.01.04 以降にバージョンアップしてください。
- リンクアグリゲーションに対するロードバランスのルールのデフォルト設定を、MAC アドレスによる判定から IP アドレスによる判定に変更しました。これにより、Dante のオーディオ信号による通信が分散されて、通信負荷が改善できることがあります。

## 修正した不具合

- その他軽微な不具合を修正しました。

# SWP1 Firmware Rev.2.01.03

## 仕様変更

- VLAN PRESET B のトランク回線のリンクアグリゲーションの組み合わせを変更して、2 系統のトランク回線を構築できるようにしました。

### [SWP1-8 / SWP1-8MMF の場合]

(旧仕様) 端子 7,8,9,10 = トランク回線 1

(新仕様) 端子 7,8 = トランク回線 1、

端子 9,10 = トランク回線 2

### [SWP1-16MMF の場合]

(旧仕様) 端子 15,16,17,18 = トランク回線 1

(新仕様) 端子 15,16 = トランク回線 1、

端子 17,18 = トランク回線 2

- SNMP で、SNMP を有効にした VLAN と同一セグメントにないホストからのアクセスを許可するようにしました。

## 修正した不具合

- SWP1/SWX2300 が複数台存在するネットワークにおいて、IGMP スヌーピング機能が有効になっている場合、機器の起動順やタイミングによっては、マルチキャスト通信がスイッチ間で転送されないことがある不具合を修正しました。

これにより以下の症状が改善されました。

- Dante の PTP マスターが複数現れてしまい、音にノイズが乗る。
  - Dante のマルチキャスト音声が入切れる。
  - その他マルチキャストを利用した制御通信がうまくいかないなど。  
上記の不具合は以下の複合要因によって発生していました。
  - IGMP Snooping 機能で、マルチキャスト受信端末が受信を終了したときにマルチキャストルータポートへのマルチキャスト転送を停止することがあった。
  - リンクアグリゲーション論理インターフェースで IGMP Snooping 機能を使っているときにリンクアグリゲーションのポート数が増減すると、マルチキャストフレームが転送されなくなることがあった。
  - IGMP Snooping 機能で、マルチキャストルータポートにマルチキャスト受信端末がある場合に、スパンニングツリー機能による経路変更などでマルチキャストルータポートが変更されると、マルチキャストの転送が正常に行われなかった。
- 起動直後から CPU 使用率が高くなることのある不具合を修正しました。
  - DHCP が設定されている VLAN を削除すると、CPU 使用率が 100%になる不具合を修正しました。
  - Yamaha Audio Network Monitor から「IP アドレス設定」情報の取得要求を受信したときに、不正な情報を送信する不具合を修正しました。
  - Web GUI の「VLAN の作成」ページで、IP アドレスの項目に正しくない情報が表示されることがある不具合を修正しました。
  - その他軽微な不具合を修正しました。